



# 湯河原ロータリークラブ WEEKLY REPORT



2020年1月24日(金) 天気：晴れ  
例会 第2794回・IM・合同例会

会長 平間 章弘  
幹事 室伏 学

事務所：神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内  
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716  
例会場：ニューウェルシティ湯河原 静岡県熱海市泉 107  
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401  
例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

## 会長挨拶

皆様、本日はようこそ湯河原にお越しくださいました。  
さて、昨年5月より元号が「令和」になりました。  
その由来は、わが国最古の歌集である万葉集の“梅の花の歌 32 首の序文”にある「初春の令月にして気淑く風和らぎ梅は鏡前の粉を披き蘭は佩後の香を薫らす」（大伴旅人）から引用されていると言われております。その意味は「折りしも初春の美しい突きで空気は清く澄み渡り、風は柔らかくそよいでいる。梅は美しい人の鏡の前の白粉の様に白く咲いているし、蘭は身分の高い人の飾り袋の香りの様に匂っている」という事です。

そして、同じ万葉集には「あしがりの土肥の河内にいずる湯のよにもたよりに子ろが言はなくに」（よみ人知らず）と、土肥つまりは湯河原の温泉がよまれています。これは「ここ足柄の河内でお湯が勢いよく湧き出でてゆらゆらと揺れている。私の心もあの湯と同じようにいつも不安で揺らいでいる。あの子は「迷っている」などと少しも言っははいないのに。やっぱり心配だなあ。」という意味です。

2つの句の内容は異なりますが、令和になって初めてのIMを、季節も同じ梅の咲く頃に、同じ万葉集によまれている湯河原の地で、我が湯河原ロータリークラブがホストクラブとして第9グループの皆様、及び関係者の方々をお迎えできるという事は、何かしらのご縁を感じざるを得ません。

本日は、皆様共にロータリーを学び、そして大いに親睦を深めて頂きたいと思っております。

## 講師：山中慎介



出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 24名
	欠席 4名(免除者 2名)		前回の修正出席率 87.50%
	出席率 90.91%		前々回の修正出席率 87.50%

事前メイクアップ 3名

# IM 合同例会

